

AYA世代の がん患者等支援事業

AYA世代等のがん患者支援事業について

事業の趣旨

AYA世代等のがん患者は経済基盤が脆弱である中、治療を継続しながら結婚、就労等のライフイベントに対応する必要があるなど、心理的・経済的負担が大きく、支援を必要としている。AYA世代等のがん患者の状況に応じた支援を行うことにより、社会生活の質の維持・向上を図り、安心して治療を継続できる環境を整備する。

1. ピアサポーター養成
2. 妊孕性温存支援
3. アピアランスケア支援
4. 在宅ターミナルケア支援

1. ピアサポーター養成研修

がんの診断を受けた患者の精神的苦痛を緩和するため、AYA世代のがん経験者等がその治療体験等を活かし患者の悩みや不安を傾聴し共感的に受け止め課題解決を図る「ピアサポーター」を養成する研修会を実施する。

<R3実施状況>

1 医療従事者向け研修(Web開催)

- (1)対象者 がん拠点病院等の医療従事者、市町行政担当者
- (2)開催日 12/7(火) 18:00~19:30(90分間)
- (3)内 容 ピアサポーターの基本事項、行政・医療機関の役割など

2 ピアサポーター希望者向け研修(Web開催)

- (1)対象者 がん経験者(AYA世代のがん経験者等)、患者家族など
- (2)開催時期 2月中旬
- (3)内 容 ピアサポーターとは、ピアサポーターの役割、活動事例など

3 その他

- ・資材活用による研修(DVD、テキスト)

2. 妊孕性温存支援

がん治療により子どもを持つ力が失われることがあるため、将来子どもを持つことを望むがん患者が行う卵子凍結、精子凍結等の妊孕性温存に係る治療費へ助成を行う。

<R3実施状況>

実施: R3. 7. 1~

対象者: 県内在住、凍結保存時に43歳未満の者

指定実施医療機関: 自治医大附属病院、中央クリニック

対象となる治療	助成上限額	助成件数 ※11/22時点
胚(受精卵)凍結に係る治療	35万円	4件
未受精卵子凍結に係る治療	20万円	4件
卵巣組織凍結に係る治療	40万円	—
精子凍結に係る治療	2万5千円	—
精巣内精子採取術による精子凍結に係る治療	35万円	—

3. アピアランスケア支援

がん治療による外見の変化により社会生活に困難を感じるがん患者を支援するため、ウィッグや乳房補整具の購入に係る経費を助成する。

<内 容>

助成を実施する市町に補助金を交付する。

対象者	<ul style="list-style-type: none">・栃木県内に住所を有する・がん治療に起因する脱毛又は乳房を切除したことに伴う医療用補整具を購入している・他の制度で助成を受けていない
補助対象	<ul style="list-style-type: none">・医療用ウィッグ本体(付属品及びケア用品を含まない。)・乳房補整具(左側、右側) ※1人当たり各1回限り
補助金額	上限額各1万円

<実施市町>

ウィッグ(6市町)	栃木市、日光市、大田原市、小山市、野木町、那珂川町
ウィッグ・乳房補整具(3市町)	真岡市、下野市、上三川町

4. 在宅ターミナルケア支援

末期がん患者が自宅で安心して日常生活を送ることができるよう、介護サービス等の助成制度がない20～39歳の若年がん患者の介護サービス等経費を助成する。

<内 容>

助成を実施する市町に補助金を交付する。

対象者	<ul style="list-style-type: none">・栃木県内に住所を有する・がん患者(医学的知見に基づき回復の見込みがない状態と判断された者に限る。)・在宅生活の支援及び介護が必要な者・他の制度で助成を受けていない
補助対象	訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与及び福祉用具購入に係る経費
補助金額	上限額1月27,000円(生保受給者3万円)

<実施市町>

宇都宮市